

① へくのへ

議会だより

Vol.221

令和3年6月2日
発行



ピッカピカの1年生

(写真説明18ページ)

令和3年第1回定例会(令和3年3月定例会)

もくじ ● CONTENTS

令和3年度の注目事業 2

予算特別委員会で新年度予算を集中審議 6

議会改革を進めています 12

一般質問に3人が登壇・村政を問う 14

小さな太陽・明日をひらく子どもたち《江刺家小学校》 18

令和3年度の注目事業



誰もが住みたい・住み続けたい村をめざして

令和3年第1回定例会は、3月1日から11日までの11日間の会期で開かれました。初日の本会議では、村長の施政方針演説と教育長の教育行政施政方針演説が行われました。今定例会では、村長から令和3年度の予算や条例など36件が、議員発議として議案3件が提出され、慎重に審議した結果、すべての議案が原案のとおり可決されました。

一般質問には3議員が登壇し、村総合発展計画、役場の職員体制、基幹産業としての農業についてなど、幅広く村政をただしました。

村長の施政方針演説

人口減少・少子高齢化対策を最重要視



施政方針演説を行う晴山村長

3月1日の本会議で行った施政方針演説で晴山村長は、最も重要視する政策は人口減少と少子高齢化対策である。九戸村に住みたい、住み続けたいという人を増やすためには、他にはないような強いインセンティブ（誘因）が必要である。多岐にわたる政策を有機的に結び付けて総合的に展開していかねばならない。令和3年度は、喫緊の課題に対処するため、人員増を伴う大胆な組織機構改革を断行し、まさに今必要な施策を、スピード感を持って推し進めていく体制を整える考えだ。ナインズプロジェクトを盛り込んだ「第3次九戸村総合発展計画」の初年度として、多様な政策、事業を本格的に実行していく年にもなると述べました。

教育行政施政方針演説

次代を担う人材の育成に全力で取り組む



教育行政施政方針演説を行う岩淵教育長

教育長の教育行政施政方針演説が議会ではじめて行われ、岩淵教育長は、教育は「国家百年の計」であると同時に「地域百年の計」でもある。第3次総合発展計画にうたわれている「誰もが住みたい・住み続けたい九戸村」には他に抜きんでた教育環境の充実は欠かせない。次代を担い、地域の持続可能な発展に資する人材の育成に全力で取り組んでいくと決意を述べました。

一般会計予算54億2979万円

令和3年度の一般会計当初予算額は、54億2979万円と決まりました。

歳入で一番多いのは、地方交付税の21億1029万円、次いで村債の14億648万円となっています。村税を含めた自主財源は11億1585万円で、全体の20.6%と低く、国や県に依存する財政となっています。

歳出では、総務費（一般事務経費や住民サービス）が最も多

く、11億9206万円で全体の22.0%を占めています。

令和3年度 一般会計予算
村民1人あたりでは
およそ
977,000円
(令和3年3月末の人口
5,558人)

令和3年度の会計別当初予算額				
会計名	令和3年度	令和2年度	伸び率	
一般会計	54億2979万円	39億3268万円	38.1%	
特別会計	国民健康保険	6億1379万円	6億2092万円	△ 1.1%
	後期高齢者医療	6672万円	6305万円	5.8%
	農業集落排水事業	3769万円	3644万円	3.4%
	下水道事業	1億3692万円	1億3852万円	△ 1.2%
	索道事業	1623万円	1502万円	8.1%
	戸田財産区	789万円	556万円	41.9%
	伊保内財産区	689万円	657万円	4.9%
	江刺家財産区	465万円	478万円	△ 2.7%
計	63億2057万円	48億2354万円	31.0%	
企業会計	水道事業	2億7762万円	2億4092万円	15.2%
	収益的支出	1億4098万円	1億3858万円	1.7%
	資本的支出	1億3664万円	1億234万円	33.5%
	予算合計	65億9819万円	50億6446万円	30.3%

一般会計予算 54億2979万円の使い方

丸数字は、金額の多い順番 ・「%」は、構成比
カッコ内は、前年度当初予算額との比較増減

<p>①総務費 22.0% 11億9206万円 (2億3165万円)</p>	<p>②民生費 14.6% 7億9421万円 (3932万円)</p>	<p>③土木費 13.9% 7億5540万円 (1億3004万円)</p>
<p>④消防費 12.8% 6億9634万円 (4億7710万円)</p>	<p>⑤教育費 9.3% 5億771万円 (1億9062万円)</p>	<p>⑥公債費 9.3% 5億594万円 (2831万円)</p>
<p>⑦商工費 8.5% 4億5948万円 (3億4515万円)</p>	<p>⑧農林水産業費 5.2% 2億7979万円 (4992万円)</p>	<p>歳入予算の内訳</p> <p>歳入総額 54億2979万円</p> <ul style="list-style-type: none"> 地方譲与税 5674万円 (1.0%) 地方消費税交付金 1億3116万円 (2.4%) 県支出金 2億2340万円 (4.1%) 国庫支出金 3億7095万円 (6.8%) 村債 14億648万円 (25.9%) 地方交付税 21億1029万円 (38.9%) その他 8521万円 (1.6%) 雑収入 1億1442万円 (2.1%) 村税 4億623万円 (7.5%) 自主財源 20.6% 繰入金 5億999万円 (9.4%) 依存財源 79.4%
<p>⑨衛生費 3.2% 1億7354万円 (△521万円)</p>	<p>⑩議会費 1.1% 6032万円 (1021万円)</p>	

令和3年度予算 使いみちを審査

予算特別 委員会

3月に開催される第1回定例会は、予算議会といわれるように、私たちの暮らしと密接にかかわる1年間の予算案を審査する議会です。村の台所事情はどうか、限られた予算で何をやるのか。令和3年度予算案については、議長を除く議員全員で構成する予算特別委員会（川戸茂男委員長）を設置して慎重に審査が行われました。ここでは、その質疑の中から、主なものをお知らせします。（2次・5次に予算の内容を掲載）



予算特別委員会では、付託された令和3年度一般会計予算ほか9件の予算案を3月5日から11日まで審査。後期高齢者医療特別会計と索道事業特別会計は賛成多数で、他の8件の予算案は全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定し、3月12日の本会議に報告しました。

一般会計

【歳入全般】

固定資産税の減免

各行政区の集会所用地は、公共的なものであるため固定資産税を減免すべきではないか。

現行制度では、土地所有者が土地貸付による収入がある場合は減免できない。

【総務費】

税金のコンビニ納付

対象となる税はどのようなものか。

村県民税、固定資産税、軽自動車税、国保税、後期高齢者医療保険料が対象となる。

役場庁舎の老朽化

庁舎の雨漏りなど、今後どう対応するのか。

調査を行い、経費を見ながら検討する。

【民生費】

二戸病院への通院助成

どのような内容なのか。

一戸線のバス路線廃止に伴い、二戸病院精神科に通院する方を対象にタクシー利用料金を助成する。

【衛生費】

旧ごみ焼却場

撤去する考えはないか。

ら検討する。



雨漏りが発生している役場庁舎

撤去費用を調査し検討していきたい。

【農林水産業費】

甘茶と山わさび

生産量を増やすための施策は。

生産者を増やすことが重要。収穫可能年数になるまでの補助や、取引価格の再検討など、関係団体と連携して取り組んでいく。



特産品として期待される甘茶

基盤整備の個人負担

個人による農業基盤整備をする場合の、個人負担率を見直す考えはないか。

財政的な面もあるが、具体的に検討していきたい。

ナインズファーム

今後の運営方針は。

新規就農者の育成や支援に力を入れたい。



今後の展開が期待されるナインズファーム

【商工費】

まちの駅「まさざね館」

改修工事の内容は。

村内業者に入っていたら、従来機能と併せて、賑わいのあるまちの駅にしたいと考えている。

【土木費】

若者定住促進住宅

一定年数居住した場合、定住促進のため払い下げる考えはないか。

他市町村の状況を情報収集しながら検討したい。

【消防費】

消防団員確保

村として、どのように取り組むのか。

消防団と協議しながら取り組んでいきたい。

避難所運営

コロナ禍における避難所の対応はどのようにするのか。

避難所での使用を想定したテントを購入し、シミュレーションを行った。



コロナ禍を想定した避難所シミュレーション

【教育費】

九曜塾 ※

新たな取り組みはあるか。
これまでは小学生が対象だったが、今後はさまざまな世代を対象にしたい。



さまざまな活動が行われている九曜塾

※「九曜塾」とは、村内小学生を対象に、自然や文化、歴史などの体験活動を行うもの。

水道事業会計

耐震化率はどの程度か。

現在13.3%となっている。2028年度までに24.3%となる見込みである。

第1回定例会 こんなことが決まりました

人事

▼教育委員会の委員の任命に
関し同意を求めることについて
教育委員会の委員に、岩崎
悦和さん（山根）を再任するこ
とに同意しました。任期は、令
和3年4月1日から令和7年
3月31日までの4年間で



岩崎 悦和さん

条例

▼九戸村課等設置条例
村のさまざまな課題に対応
するため、役場組織の見直しを
行うものです。

◆主な質疑◆

問 行政改革推進委員会か
らは、役場組織見直しについ
てどのような意見があった
のか。

答 今回は、行政改革推進委
員会を開催していない。

問 なぜ開催していないのか。

答 地方自治法では、村長は、
その権限に属する事務のために
必要な内部組織を設けること
ができるとされており、組織見
直しは行政改革に関する重要
事項には該当しないと考え、委
員会に諮問しなかった。

問 IJU戦略室という組織
の名称は、村民に分かりづら
いのではないか。

答 IJUと書いて「いじゅう
（移住）」と読む。「Iターン」「J
ターン」「Uターン」の頭文字であ
ると機会あるごとに伝え、村民
に定着するよう努めたい。

▼九戸村職員定数条例
役場組織の見直しに伴い、所
属ごとの職員定数を改めるも
の。

▼九戸村の未来につなぐ基本
条例
誰もが住みたい村、住み続け
たい村をめざし、移住や定住、
出産や子育てへの支援を図る
ための基本理念を定めるもの
です。

▼九戸村国民健康保険税条例
の一部を改正する条例

▼九戸村道路占用料徴収条例
の一部を改正する条例

地方税法の改正に伴い、所要
の整備を行うものです。

▼九戸村育英奨学資金貸与等
条例の一部を改正する条例
村の将来を担う人材の育成
及び伊保内高校への進学を支
援するため、奨学金返還の免除
規定を見直すものです。

▼九戸村行政不服審査会条例
の一部を改正する条例
役場組織の見直しに伴い、条
例内にある課の名称を改正す
るものです。

▼九戸村若者定住促進住宅
条例の一部を改正する条例
令和2年度新築分を条例に
整備するものです。



長興寺地区に建てた若者定住促進住宅

道路法施行令の改正に伴
い、占用料の見直しを行うも
の。

議決事件

▼第3次九戸村総合発展計画
の策定に関し議決を求めるこ
とについて

総合的かつ計画的な行政の
運営を図るための基本構想、及
びこれを実現するための基本
計画である第3次九戸村総合
発展計画を議決しました。

▼指定管理者の指定に関し議
決を求めることについて
指定期間が満了となる村の
8施設について、管理運営を行
う団体の指定を議決しました。

議決された指定管理者

施設の名称	管理者とした団体
九戸村立ふるさとの館	株式会社 九戸村ふるさと振興公 社
ふるさと創造館	
九戸村雑穀加工施設	
パークゴルフ場	
コロボックルランド	九戸村商工会
オドゾ館	
まちの駅「まさざね館」	
九戸村屋内ゲートボール場	九戸村ゲートボール協会

議員発議がありました

議員発議として、次の条例案
等の提出があり、全員賛成で可
決しました。

歩む開かれた議会の実現を目
指し制定するものです。（詳細
は、12ページに掲載）

▼九戸村議会委員会条例の一
部を改正する条例

議会の広報広聴機能を強化
するため、任意の議会広報紙
編集委員会を廃止し、議会広
報常任委員会を設置するもの
です。

▼九戸村議会会議規則の一部
を改正する規則

議員が活動しやすい環境整
備の一環として、出産・育児・介
護など議会への欠席事由を整
備するものです。
また、議会への請願手続きに
ついて、請願者に一律に求めて
いる押印の義務付けを見直し、
署名又は記名押印に改めよう
とするものです。

▼九戸村議会基本条例

議会の基本理念や議員の活
動原則等を定め、村民とともに

補正予算

▼令和2年度一般会計補正予
算（第10号）

予算総額から8億1,577万9,000円を減額し、51億9,069万6,000円としました。内容は、事業実績見込みによる差額の減額と、事業の繰り越し等を決定するものです。また、子ども子育て支援基金に2億円を増額しています。



子ども子育て支援金2億円を積み立てた

▼令和2年度国民健康保険特
別会計補正予算（第3号）

予算総額に8億5,888万9,000円を追加し、6億9,888万7,000円としました。内容は、給付見込み額の修正によるものなどです。

▼令和2年度農業者集落排水事業特別会計補正予算（第1号）

予算総額から2億2,519万5,000円を減額し、1億2,519万5,000円としました。内容は、事業実績見込みによる差額の減額です。

▼令和2年度戸田財産区特別会計補正予算（第1号）

予算総額に2億8,933万9,000円を追加し、3億4,499万9,000円としました。内容は、財産管理資金積立金などです。

▼令和2年度伊保内財産区特別会計補正予算（第2号）

予算総額から9万2,000円

反対討論 久保えみ子議員

「制度に反対」

後期高齢者医療特別会計
高齢者を初めから差別
し、医療を制限する制度だ。

「抜本的な検討を」

索道事業特別会計
今のやり方で良いのか、抜
本的な検討を求める。

議会広報常任委員会



委員長 桂川 俊明 副委員長 保大木信子
委員 坂本 豊彦 委員 渡 保男
委員 山下 勝

議会からの情報発信のため、定例会ごとに発行する「くのへ議会だより」の記事作成や写真選定などの編集作業のほか、議会に対するご意見やご要望などを聴く広聴活動を行います。

令和3年第1回定例会 議員ごとの賛否の状況

議案等番号	議案名等	古舘 巖	川戸 茂男	坂本 豊彦	大崎 優一	中村 國夫	久保えみ子	保大木信子	岩淵 智幸	渡 保男	山下 勝	桂川 俊明	櫻庭豊太郎	採決の結果
第1号	教育委員会の委員の任命に関し同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第2号	九戸村課等設置条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第3号	九戸村職員定数条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第4号	九戸村の未来につなぐ基本条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第5号	九戸村国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第6号	九戸村育英奨学資金貸与等条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第7号	九戸村行政不服審査会条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第8号	九戸村若者定住促進住宅条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第9号	九戸村道路占用料徴収条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第10号	第3次九戸村総合発展計画の策定に関し議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第11号	九戸村立ふるさと館の指定管理者の指定に関し議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第12号	ふるさと創造館の指定管理者の指定に関し議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第13号	九戸村雑穀加工施設の指定管理者の指定に関し議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第14号	パークゴルフ場の指定管理者の指定に関し議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第15号	コロポックルランドの指定管理者の指定に関し議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第16号	オドデ館の指定管理者の指定に関し議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第17号	まちの駅「まさざね館」の指定管理者の指定に関し議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第18号	九戸村屋内ゲートボール場の指定管理者の指定に関し議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第19号	令和2年度九戸村一般会計補正予算(第10号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第20号	令和2年度九戸村国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第21号	令和2年度九戸村農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第22号	令和2年度九戸村下水道事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第23号	令和2年度九戸村索道事業特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

議案等番号	議案名等	古舘 巖	川戸 茂男	坂本 豊彦	大崎 優一	中村 國夫	久保えみ子	保大木信子	岩淵 智幸	渡 保男	山下 勝	桂川 俊明	櫻庭豊太郎	採決の結果
第24号	令和2年度戸田財産区特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第25号	令和2年度伊保内財産区特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第26号	令和2年度江刺家財産区特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第27号	令和3年度九戸村一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第28号	令和3年度九戸村国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第29号	令和3年度九戸村後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	-
第30号	令和3年度九戸村農業集落排水事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第31号	令和3年度九戸村下水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第32号	令和3年度九戸村索道事業特別会計予算	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	-
第33号	令和3年度戸田財産区特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第34号	令和3年度伊保内財産区特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第35号	令和3年度江刺家財産区特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第36号	令和3年度九戸村水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第1号	九戸村議会委員会条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第2号	九戸村議会基本条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
第3号	九戸村議会会議規則の一部を改正する規則	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

表の見方 「○」は賛成、「×」は反対、「-」は採決に加わらなかった。
 ※櫻庭豊太郎議長は、賛否が同数などの場合にのみ、採決に加わりません。



新型コロナウイルスに対する予防接種費用が
 予算化されました

令和2年度九戸村一般会計
 補正予算(第9号)
 予算総額に5348万2000
 円を追加し、52億7227万
 5000円としました。
 増額の内容は、次のとおり
 です。

- ▽新型コロナウイルス予防接種費用
- ▽クーポン券による村内事業者支援
- ▽ふるさと振興公社への経営経費補てん

補正予算

令和3年第1回臨時会が1
 月28日に開かれました。
 村長から提出された議案1
 件を慎重に審議した結果、原案
 のとおり可決されました。

第1回臨時会

令和3年第1回臨時会 議員ごとの賛否の状況

議案等番号	議案名等	古舘 巖	川戸 茂男	坂本 豊彦	大崎 優一	中村 國夫	久保えみ子	保大木信子	岩淵 智幸	渡 保男	山下 勝	桂川 俊明	櫻庭豊太郎	採決の結果
議案 第1号	令和2年度九戸村一般会計補正予算(第9号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

表の見方 「○」は賛成、「×」は反対、「-」は採決に加わらなかった。
 ※櫻庭豊太郎議長は、賛否が同数などの場合にのみ、採決に加わりません。

議員は何をしているの？

議員や議会は何をしているの？という声を聞きます。
ここでは、議会や議員の主な活動状況をお知らせします。



1月

- 10日 令和3年九戸村消防団出初式
- 18日 議会改革に関する研修会
- 議会改革等に関する調査特別委員会
- 27日 議員全員協議会
- 28日 令和3年第1回臨時会
- 29日 二戸地区広域行政事務組合議会全員協議会



1月18日に行われた議会改革研修会

2月

- 9日 議会広報紙編集委員会
- 議会改革等に関する調査特別委員会
- 15日 二戸地区広域行政事務組合議会定例会
- 16日 北部地区議長会正副議長及び事務局長合同会議
- 18日 岩手県後期高齢者医療広域連合議会全員協議会・定例会
- 19日 岩手県町村議会議長会定期総会
- 22日 議会運営委員会



令和3年度予算など活発な議論が交わされた3月定例会

3月

- 1日 令和3年第1回定例会 本会議(議案説明) 議員全員協議会、村政調査会、各常任委員会
- 4日 令和3年第1回定例会 本会議(一般質問)
- 5日 令和3年第1回定例会 本会議(議案審議)
- 8日 令和3年第1回定例会 予算特別委員会 (11日まで)
- 12日 令和3年第1回定例会 本会議(議案審議) 議員全員協議会
- 25日 九戸福祉会理事会
- 29日 九戸教育施設運営会理事会

請願・陳情の出し方

- ① 請願書(陳情書)は、その趣旨、理由を簡潔にわかりやすく書いてください。
- ② 提出年月日、提出者の住所、氏名を書いて押印してください。
- ③ 請願書は一人以上の紹介議員が必要で、表紙に自書による署名または記名押印をしてください。
- ④ 紹介議員が付かないときは陳情書としてください。
- ⑤ 道路等は、簡単な地図・略図・図面等をつけてください。

(記入例)

(表紙)	(内容)
請願(陳情)書	令和 年 月 日 九戸村議会議長(氏名)殿 請願(陳情)者の住所 氏名 〇〇〇について 請願(陳情) (要旨) (理由)
紹介議員 氏名	

議会基本条例を制定 議会改革進行中

～議会改革等に関する検討結果がまとまりました～

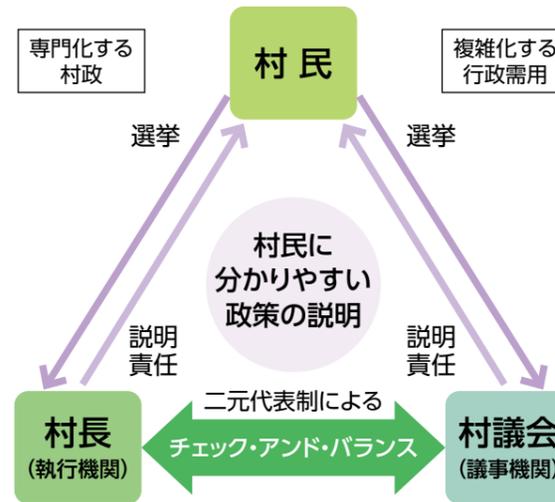
議会改革の検討結果概要をお知らせします

九戸村議会は、村民に開かれた、身近でより一層分かりやすい議会運営を実現するため、議会改革等に関する調査特別委員会を立ち上げ(令和2年6月)、議会運営など議会全般にわたる改革(5項目)について、13回の検討を行い、検討結果を令和3年第1回定例会に報告しました。併せて、今後の議会運営について、議会の規範となる「議会基本条例」を制定いたしました。検討結果の概要と今後の具体的な議会改革の実施項目をお知らせします。



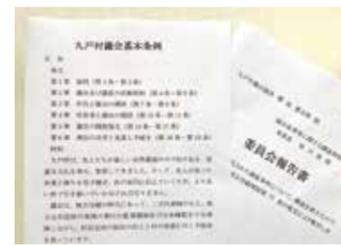
議会改革等に関する調査特別委員会の様子

開かれた、村民にわかりやすい議会を目指して九戸村議会はさらに説明責任を果たします!!



村議会は、村民との協調のもと、村づくりを推進していくとともに、議会の公正性・透明性を確保することにより、村民に開かれた議会、村民参加を推進する議会を目指して活動を展開するものとします。(九戸村議会基本条例の前文より)

分野別	実施予定時期
1 【情報公開】	
① 会議録を村ホームページに掲載	令和3年度～
② 議会本会議の動画配信	令和3年度～
③ 議員個人の賛否結果の公表	既に実施済み
④ 議会だよりを村ホームページに掲載	令和3年度～
⑤ 議会の活動状況を村ホームページに公開	令和3年度～
⑥ 議長交際費の公開(議会だより掲載)	令和3年度～
2 【住民参加】	
① 住民懇談会の開催	令和3年度～
② 子ども議会の開催	令和3年度～
③ 議会傍聴の呼びかけ(防災無線でのお知らせ)	既に実施済み
3 【議会の機能強化】	
① 議会基本条例の制定	令和3年度～
② 災害時における議会・議員の対応マニュアルの策定	令和2年度～
③ 議決事件を追加する条例の制定	令和2年度～
④ 議会広報常任委員会の設置	令和3年度～
⑤ 議会資料の電子化、タブレット導入	令和3年度～



議会基本条例と特別委員会報告書

○ 議事機関とは？
村議会は、条例の制定、予算の議決など、村の運営に係る基本的な事項について、審議し決定します。地方議会は、議事機関と呼ばれるのは、村長、行政委員会等の執行機関に対するチェック機能として、政策論争を活発に行い、議決を通じて村民福祉の向上に取り組みることが期待されているからです。

○ 二元代表制とは？
議会と村長は、ともに直接選挙で選ばれる代表者であることから、二元代表制(大統領制)と呼んでいます。村の運営に不可欠な機能を議会(意思決定権限)と村長等(執行権限)に分け、両者間におけるチェック・アンド・バランスにより村政が運営される仕組みとなっています。両者の意思が一致しないこともあり、地方自治法では、最後に有権者である村民が判断する仕組みとなっています。

議会改革についてご意見をお寄せください ⇒ 住所、氏名をご記入の上、郵送、FAX、Eメールなどで村議会事務局へ。
※個別に直接回答はいたしません、今後の参考といたします。(ご意見の送り先は18ページに掲載)



中村國夫 議員

村総合発展計画の重点は何か

村長▶人口減少と少子化に歯止めをかける



次ページからは

問 第3次九戸村総合発展計画の優先順位と内容について伺う。

村長 村の最も大きな課題は人口減少少子化だ。誰もが「住みたい村」「住み続けたい村」をめざし、人口減少と少子化に歯止めをかける施策を重点的に推進したい。

そのため、情報発信の強化と交流人口、関係人口の拡大をめざすとともに、企業と連携し、雇用と定住のマッチングの支援や、農林業の新たな担い手育成を推進していきたい。

さらに、新たな助成制度の創設による住環境整備の推進や、村単独のことも手当て支援策の強化を図っていく。

問 地域振興交付金のねらいは何か。また、他の地域補助金と何が違うのか。

村長 対象事業や経費などに細かい制限を設けずに、地域課題を地域住民自らが話し合う契機となることをねらいとしている。

～村政を問う～

一般質問に3人が登壇

3月定例会での一般質問は3月4日に行われ、3人の議員が一般質問に登壇し、活発な議論が展開されました。

質問議員(質問順)	質問事項	掲載ページ
中村 國夫 議員	○第3次九戸村総合発展計画について ○児童数の減少と教育環境の今後のあり方について ○本村の教育課題について	15
保大木信子 議員	○職員体制と職場環境改善について ○ふるさと振興公社とナインズファームの合併について ○地域おこし協力隊について	16
久保えみ子 議員	○基幹産業としての農業の位置づけについて ○子どもが増える村づくりについて ○黒山の昔穴遺跡の保存について ○ナインズファームとふるさと振興公社との統合について	17

一般質問とは、議員が村の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針などについて所信を聞き、報告や説明を求め疑問点をたずねることです。

さまざまな地域課題の解決に役立ててもらうため、使

い勝手の良い新たな交付金制度を創設するものだ。

児童数減少と教育環境のあり方は

問 令和2年度の出生数が1桁となった状況を、どのように受け止めているか。

指し、早期に学校のあり方について検討が必要ではないか。

村長 人口を増やすための強いインセンティブ(誘因)を創っていくための、あらゆる政策を押し進めていくことが重要だ。

問 より良い教育環境を

村長 小学校の再編には、地域住民の合意が絶対条件だ。住民に学校教育や教育制度などを理解してもらい、アンケートを実施し方向性をまとめていく。

本村の教育課題

問 GIGAスクール構想への取り組みと課題は何か。

校に通信インフラが整備されており、他市町村にひけをとらないICT環境である。今後は、教員のICT(情報通信技術)活用スキル向上に注力する。

教育長 本村は、すべての学

校に通信インフラが整備されており、他市町村にひけをとらないICT環境である。今後は、教員のICT(情報通信技術)活用スキル向上に注力する。

問 本村における教員のICTに係る研修は、どのように行われているのか。

教育長 県の研修への積極的な参加促進

問 教科担任制について、文部科学省が2022年度を目途に導入決定したことに對し、どう考え、どう対応するのか。

教育長 教科担任制導入は、今後、教育長会議等で詳細が明らかになってくると思われる。対応に遅れないように情報収集に努めていく。

問 各地区で行われた教育懇談会で、どのような提言があり、今後どう取り組んでいくのか。

教育長 現状の課題解決と、将来に向けての教育環境整備を求める声が多数だった。意見や要望等を集約した後、具体案をなるべく早い段階で示し、多くの住民から賛同いただけるものにしていく。



保大木信子 議員

どう考える役場の組織体制

村長 ▶ ニーズや課題に対応できる体制に

職場環境改善のため職員から聞き取りを行った結果、どのような問題や要望があり、組織の機構改革に行かされたのか。

保健部署と福祉部署の統合など、組織体制の見直しを要望するものが多く、村民のニーズや課題に対して的確に対応できる体制にしたい。

新採用職員への指導育成は、どのように行うのか。

例年行う職員研修に加え、自主研修や外部研修への参加も積極的に行いたい。

保育園の体制について、職員から聞き取りはしたのか。また、どのような要望が出され、今後の体制をどう考えるのか。

保育園長及び正職員の保育士と、体制等について面談を行った。そのなかで、保育士資格のある職員が足りないとの意見があった。園長職は資格の有無、雇用の形態、年齢によらず、運営全体をマネジメントできる人材を登用したい。



見直しが行われた役場組織体制

ふるさと振興公社とナインズファームの合併

ふるさと振興公社とナインズファームとの合併による改革は、どのように進められるのか。

ナインズファームは、本来業務である担い手育成に力を入れたい。株主総会、取締役会を経て正式な合併統合としたい。

合併により、互いの経営に良い影響があるのか。

合併の目的は体制強化で、経営が安定するメリットもある。将来的には、生産から加工販売までを担い、村の6次産業化を推進する中核企業として、地域総合商社のなみに発展させたい。

地域おこし協力隊

地域おこし協力隊の応募状況と内容は。

11人の応募があり、そのうち9人が4月から着任する見込み。自伐型林業、工芸、村の情報発信、伊保内高校支援、子育て支援などの業務を予定している。

※地域おこし協力隊とは、都市から地方へ移住し、地域おこし支援や農林業、地域協力活動などを行いながら、定住・定着を図る取り組みです。

伊保内高校の存続のため、協力隊員で高校魅力化コーディネーターを担う人材が必要ではないか。

伊保内高校支援を希望する応募者は2人で、いずれも20代前半。高校側から、経験豊かな人材が必要との要望があるため、地域おこし協力隊とは別に、コーディネーターを募集し採用したい。

黒山の昔穴遺跡

黒山の昔穴遺跡の周辺で、木の伐採が行われているが、遺跡の保存に影響はないのか。

また、遺跡のすべてが将来にわたって保存されているのか。

遺跡の拡大部分についても、遺跡として登録するとの通知を受けている。

遺跡の国指定に向けた作業の進捗状況は。

遺跡の調査報告書が、本年2月に発刊となった。村全体を挙げて国指定につながる盛り上がりとなるよう、遺跡展示会等の事業を実施していく。

ナインズファームとふるさと振興公社

ふるさと振興公社とナインズファームが統合するのはなぜか。また、目的は何か。

ナインズファームの職員が少なく、農業技術の指導を行う余裕がない状態となっていた。統合すること

※6次産業とは、農林業などの生産(1次産業)、加工(2次産業)、販売(3次産業)を掛け合わせた、多角的な新たな産業の形です。

まへのんじゅの音が聞ける村

子どもが増える村づくりに、どのように取り組んでいくのか。

少子化に歯止めをかけるには、若い世代の定住を増やすことが必要だ。新婚世帯の転入費用の助成制度を設けるほか、村単独の出



村の基幹産業として農業施策の充実を

するところだ。基盤整備、農地流動化の推進、後継者及び新規就農者の育成体制の強化などの充実を図りながら、村の特徴を活かした農業を確立していきたい。

農業を基幹産業として推進するための体制が、十分に図られているのか。

新年度は、農業を産業の観点から見直し、生産から流通までを見据えた政策実現のために、新たに産業振興課を立ち上げ、商工業と一体的な振興を図りたい。

農業が村の基幹産業であることは衆目の一致

産助成制度を創設し、出産祝金も第1子から拡充するとともに、子育て支援センターを新たに設置する。雇用の場の拡充、住み心地のいい安心・安全な村づくりを進めながら、少子化に歯止めをかけた。

農業振興に力を入れるべきでは

村長 ▶ 農家に寄り添い農業政策を遂行

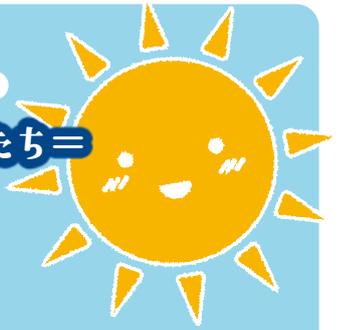


久保えみ子 議員

少子化に歯止めをかけるには、若い世代の定住を増やすことが必要だ。新婚世帯の転入費用の助成制度を設けるほか、村単独の出

産助成制度を創設し、出産祝金も第1子から拡充するとともに、子育て支援センターを新たに設置する。雇用の場の拡充、住み心地のいい安心・安全な村づくりを進めながら、少子化に歯止めをかけた。

小さな太陽 =明日をひらく子どもたち=



キラキラ輝く瞳。大きな夢なら負けません。

このコーナーでは、そんな太陽のような目をした子どもたちに登場してもらいます。

vol.221

令和3年6月2日発行

発行／九戸村議会
編集／議会広報常任委員会

〒028-6502 岩手県九戸郡九戸村大字伊保内10-11-6
電話：0195(42)2111代 FAX：0195(41)1005
E-mail: gikai@vil.kunohi.iwate.jp



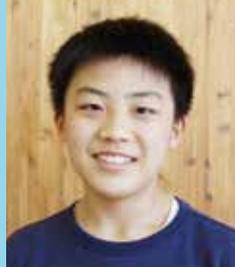
大好き！ 九戸村

江刺家小学校6年
しちのへ ゆりの
七戸 友利乃さん

私の思う九戸村の特によいところを三つ紹介します。
一つ目は、折爪岳の山頂から見える、美しい景色です。晴れている時は、八戸の青く輝く海が見えます。また、春になると桜が、秋になると赤や黄色に染まった木々が見えてとてもきれいです。
二つ目は、おいしい鶏肉

です。九戸村では鶏肉が多く生産されています。そして、量だけではなく、味までとてもおいしいです。九戸村の鶏肉で焼き鳥を作って食べた時は、ほっぺが落ちてしまうほどおいしくて、手が止まりませんでした。
三つ目は、甘茶です。私は甘茶という名前からそこまで甘くないだろうと

思っていたけど、飲んでみてびっくりしました。こんなに甘いお茶があるんだと思いました。しかも、甘だけじゃなくて、やさしい味でとても飲みやすかったです。
私は、こんなに美しい九戸村が大好きです。



よいところ たくさん！ 九戸村

江刺家小学校6年
ほそかわ のぶたか
細川 展孝くん

ぼくが考える九戸村のよさは三つあります。
一つ目は、江刺家小学校で取り組む稲作体験です。五・六年生が行う種まきから始まり、田植え、稲刈り、脱穀といういろいろなことをします。ぼくがその中で一番興味を持ったことは、稲の種まきです。どこに興味を持ったかという、小さな種が田植えをする時の稲に育つことに驚きました。種まきが終

わり、これから田植えがあるので楽しみです。
二つ目は、水道水です。最近、九戸村の水道水が「GO九つ戸」という名前前で販売されることになりました。これを知ってから、ぼくは、水道水なんだからどこでも同じではないかと考えていたけれど、飲んでみるうちに、そのおいしさを改めて感じるようになりました。
三つ目は、ヒメホタルで

す。以前、九曜塾でヒメホタルを見に行った時に、光っているかのように明るくて、とてもきれいな風景でした。
他にも、九戸村には、まだまだよいところがたくさんあります。例えば、鶏肉や甘茶などです。これからも九戸村のよさをたくさん増やしていければいいなと思います。

あ と が き

新年度が始まり、新一年生が上級生に囲まれ登校する元気な姿を見ると、コロナ禍で不自由をしているのがワンのように思われます。
春本番となり、農家の方を畑や田んぼで見かけると、家でゴロゴロしている私も忙しくなった気持ちにさせられます。
コロナウイルスのワクチン接種が始まり、多くの人が接種を受け、一日も早い日常に戻ってくることを願っております。
終わりに、議会広報紙編集委員会も新年度より常任委員会として活動することになりました。これまで以上に早く、わかりやすい広報を届けるために頑張りますのでよろしくお願いたします。

議会広報常任委員 渡 保男

議会広報 常任委員会

- 委員長 桂川 俊明
- 副委員長 保大木 信子
- 委員 本 豊彦
- 委員 坂本 保男
- 委員 山下 勝



夢と希望を胸に迎えた伊保内高校の入学式